

オーストリアの年越しは花火



お正月の花火© Fuchs Robert CC BY 3.0

オーストリアの年越しは賑やかです。日本のように静かに家族と一緒に過ごすより、友達や近所の人とパーティーをしたり、出かけたりすることが多いです。

ホームパーティーの場合は、いくつかの伝統があります。日本と同じような新年の抱負もあって、来年はどんな年にするかよく考えます。幸せいっぱい

の年になるよう、友達や家族に、お守りのようなラッキーシボルの形の小物をあげたりします。

鉛で作ったラッキーシボルの形も売られていますが、それは鉛の占いのためです。鉛をスプーンに置いてろうソクの上で溶かして大きなボールに入れたお水に注ぎます。鉛が不思議な形で固まって、その形を見ながら、次の年に起こることを想像します。新年の抱負を決めて、零時になるまで待ちます。零時になると、ラジオからワルツが流れてきて、各地や家庭でやる花火を見ながら踊ります。都市や村の花火だけではなく、個人的にやっている家庭もあり、すごいです！そのため、私は去年のお正月を日本で過ごしましたが、零時になっても、待っても待っても、花火が現れなくて大変驚きました！



鉛の占い© Micha L. Rieser

文化コーナー：ファッシングとボールのシーズン



フォーアアールベルグ州のファッシング ©böhringer friedrich, CC BY-SA 2.5

オーストリアの2月はボール（ダンスパーティー）とファッシング（カーニバル）の季節です。昔はイースターの前の40日間は断食でしたが、その前のファッシングの時期は楽しく過ごしました。自由に遊んだり、あんずのジャムが入っている美味しいクラブフェンというお菓子を食べたりする期間です。ファッシングのパーティーやパレードでは、変装します。道化師や映画のキャラなど楽しい格好が多いです。テレビでも、特に政治の内容を中心とするお笑いのスキット（寸劇）などが見られます。

多くの団体のボールも開催されます。エレガントなダンスのパーティーで、長いドレスやスーツを着て、社交ダンスを踊ります。早目に行う卒業パーティーとして、各高校のマトウラーボール（プロム）もこの時期に行います。

那須塩原・リンツ

あの人：小川絵美子氏（リンツ在住）



プロフィール

名前：小川絵美子

職業：キュレーター・文化プロジェクトマネジャー・アーティスト

モットー：高い目、長い目、つなぎの目

今までに行った・参加した交流活動：

那須塩原市役所で市職員、市議会議員、先生方を対象に、アルスエレクトロニカ・センターにおける「未来の教育」についてお話しさせていただきました。アルスエレクトロニカ・センターはリンツ市にある「未来の美術館」です。オープンからすでに20年が経っている現在も「未来の教育」の場として子どもたちはもちろんのこと、学生やお年寄り、企業の人々も訪れる場所として進化し続けています。クローン植物を培養するバイオラボやレーザーカッターや3Dプリンタを使って自分の作品を作るファブラボ、自分の街の情報をペンのようなツールで操れる展示や8Kの解像度で3Dの映像が壁面と床面に映し出される巨大なDeep Spaceなど、科学や技術を使ったアート作品を通して、現在の私たちが知るべき・考えるべきテーマの展示会を「体験」することができます。私自身はアルスエレクトロニカで働いて今年10年目になります。大都市ではないですが、ガラス張りの先進的建物と伝統的な街並みのバランスが美しい、未来に向かって歴史を作っている挑戦的な街です。

16mx9mの巨大な映像空間 Deep Space 8K

アルスエレクトロニカ・センター



© Christopher Sonnleitner



©Nicolas Ferrando, Lois Lammerhuber

その中で感動した経験&未来に行ってみたい行動・アイデア・意見：

講演会では皆さんが熱心に質問くださり、またその内の何名かはアルスエレクトロニカ・センターへ視察にも来てくださっていました。那須塩原市もテクノロジーを取り入れた先進的教育に熱心であると聞いています。那須塩原市とリンツ市の生徒交流という素晴らしい教育の取り組みが既に始まっているので、リンツ市を訪れる生徒さんたちもみな、是非アルスエレクトロニカ・センターを訪れていただきたい

那須塩原・リンツ

と思います。一日訪問するだけでなく、リンツに滞在して学んでいるという強みを生かして、日本人ならではの取り組みができるのではないのでしょうか。センターには日本人の来客も多くあります。(9月に行われるアルスエレクトロニカ・フェスティバルには毎年数百名の日本人アーティストや専門家たちがリンツを訪れています) 私自身も生徒の皆さんとセンターについてどう感じたのか議論してみたいですし、例えば、センターの見どころを皆さんの視点で日本人の方々に紹介する新聞を作っていただく、地元の日本人の方々に招待して、ツアーを行っていただく…など学んで吸収するだけでなく、自分から発信する体験もしていただきたいなと思います。

生き生きとした姉妹都市関係



2017年11月21日と12月12日：勤労青少年ホーム
アドベントカレンダー、わらの星、クッキーのアイシングと、クリスマスの飾り物を作りました！蜂蜜とスパイスをいっぱい使ったジンジャーブレッドの上に、皆さんが素晴らしい飾りを書いて、ヨーロッパのクリスマスの雰囲気が出ました。

2017年12月17日：ビーンズクラブ

オーストリアのクリスマスを楽しむイベントを行いました。オーストリアのクリスマスの紹介を聞いた後、アドベントカレンダー作りに挑戦しました。子供たちの手



作りの絵などで飾られ、とても素敵でした！クリスマスまで毎日、可愛い封筒を一枚開いてチョコレートを一個ずつ食べながら、親子でクリスマスまでの時間を楽しむことができました！

ドイツ語コーナー：Prosit Neujahr！



「プロジット・ノイヤー！」 © Rainer Halama, CC BY-SA 4.0

「プロジット・ノイヤー」というのは、お正月に使う挨拶です。その意味は、「新しい年に、乾杯！」です。12月31日の夜に教会の鐘が鳴ると、シャンペンで乾杯をしながら言います。「プロジット」は普通の乾杯の「Prost(プロスト)」と同じ意味ですが、ラテン語なので、プロストよりちょっと公式的な感じがします。

12月の終わりや1月の初めに会う人に「Ein frohes neues Jahr!(アイン・フローエス・ノイエス・ヤー)」の挨拶を言います。「新年が良い年になりますように」の意味です。

那須塩原・リンツ



作ってみましょう！ ☆ 焼きリンゴ (2人分)

リンゴを2個洗って、上と下(茎のところ)に気をつけてナイフで穴を開けて、フォークで種を取り出します。細く切ったアーモンド(25g)、レーズン(25g)、ジャム(小さじ2)とシナモン(少々)を混ぜます。リンゴにあけた穴に入れます。バターを塗った皿にのせて、200℃に温めたオーブンで様子を見ながら約25分焼きます。

バニラソースと食べるのがおすすめ！

答えは下



Q

左の写真は、オーストリアのカーニバルで人気のお菓子ですが、中には何が入っていますか。

A: チョコレートのプリン

B: あんこ

C: マスタード

D: あんずのジャム

©Dr. Bernd Gross, CC BY-SA 3.0

1月・2月・3月のオーストリアに関するイベント

2018年2月3日(土) Music & Dance (カーニバル用のマスク作りワークショップ)

今回3回目の「Music & Dance」はワールドフードのワークショップや音楽を楽しむ那須塩原市国際交流協会主催の異文化交流イベントですが、100名様限定で参加できます(事前申し込み要)。フロリンのワークショップでは、ファシング(オーストリアのカーニバル)を紹介します。一緒にカーニバル用のマスクを作って、つけたままで交流会を楽しめます。カーニバルのパーティーの雰囲気と一緒に体験してみましょう！

主催： 那須塩原市国際交流協会、場所：石山(黒磯駅前)、時間：14:00~16:00

ワールドフードワークショップ参加費：500円

申し込み：1月26日までに、携帯電話又はショートメールにより、八巻さん(080-3480-3759)または濱中さん(090-1851-6510)にご連絡ください。

発行：那須塩原市役所企画部秘書課都市交流係
(担当：フロレンティーネ・ロンニガー)

事務局：〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108-2

TEL: 0287-62-7324 FAX: 0286-63-1240

Eメール：f.ronniger@city.nasushiobara.lg.jp

FB: <https://www.facebook.com/nasushiobara.city.hisho/>

質問があったら、聞いてね！



リンツの答え：D: あんずのジャム